

328 前眼部形成異常

■ 患者情報

保険情報	保険者番号		被保険者記号	
	被保険者番号		被保険者 個人単位枝番	
	資格取得 年月日	西暦 年 月 日	*以降、数字は 右詰めで記入	
氏名	セイ		メイ	
	姓		名	
以前の登録氏名	セイ		メイ	
	姓		名	
住所	郵便番号	-		
	都道府県			
	市区町村			
	丁目番地等			
生年月日	西暦 年 月 日			
性別	☐ 男性 ☐ 女性			
出生地	都道府県			
	市区町村			

■ 基本情報

家族歴	☐ 1. あり ☐ 2. なし ☐ 3. 不明		
	発症者続柄		
	☐ 1. 父 ☐ 2. 母 ☐ 3. 子 ☐ 4. 同胞（男性） ☐ 5. 同胞（女性） ☐ 6. 祖父（父方） ☐ 7. 祖母（父方） ☐ 8. 祖父（母方） ☐ 9. 祖母（母方） ☐ 10. いとこ ☐ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入		
	続柄		
発症時期	西暦 年 月		
社会保障			
介護認定	☐ 1. 要介護 ☐ 2. 要支援 ☐ 3. なし		
要介護度	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5		
生活状況			
移動の程度	☐ 1. 歩き回るのに問題はない ☐ 2. いくらか問題がある ☐ 3. 寝たきりである		
身の回りの管理	☐ 1. 洗面や着替えに問題はない ☐ 2. いくらか問題がある ☐ 3. 自分でできない		
ふだんの活動	☐ 1. 問題はない ☐ 2. いくらか問題がある ☐ 3. 行うことができない		
痛み／不快感	☐ 1. ない ☐ 2. 中程度ある ☐ 3. ひどい		
不安／ふさぎ込み	☐ 1. 問題はない ☐ 2. 中程度 ☐ 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる		
手帳取得状況			
身体障害者手帳	☐ 1. なし ☐ 2. あり（等級 ☐ 1級 ☐ 2級 ☐ 3級 ☐ 4級 ☐ 5級 ☐ 6級）		
療育手帳	☐ 1. なし ☐ 2. あり		
精神障害者 保健福祉手帳 （障害者手帳）	☐ 1. なし ☐ 2. あり（等級 ☐ 1級 ☐ 2級 ☐ 3級）		
人工呼吸器等装着者認定基準に該当			
☐ 1. する ☐ 2. しない ☐ 3. 不明			

■ 診断基準に関する事項

<診断のカテゴリー>

☐ Definite 1 : Aの1～3のうち1つ以上を認め、Bの1と2を認めるもの
☐ Definite 2 : Aの1～3のうち1つ以上を認め、Bの1を認め、Cの鑑別すべき疾患を除外できるもの
☐ Probable : Aの1～3のうち1つ以上を認め、Bの1を認めるが、Cの鑑別すべき疾患を除外できないもの
☐ いずれにも該当しない

A. 症状

1. 新生児・乳児期から存在する角膜混濁	☐ 1. あり	☐ 2. なし	☐ 3. 不明
2. 視覚障害	☐ 1. あり	☐ 2. なし	☐ 3. 不明
3. 羞明	☐ 1. あり	☐ 2. なし	☐ 3. 不明

B. 検査所見

検査方法			
☐ 細隙灯顕微鏡検査	☐ 前眼部超音波検査	☐ 前眼部光干渉断層計検査	☐ その他
1. 新生児期から乳幼児期の角膜混濁	☐ 1. あり	☐ 2. なし	☐ 3. 不明
	☐ 両眼	☐ 右眼	☐ 左眼
	範囲	☐ 全面	☐ 一部
2. 角膜後面から虹彩に連続する索状物や角膜後部欠損	☐ 1. あり	☐ 2. なし	☐ 3. 不明

C. 鑑別診断

以下の疾病を鑑別し、全て除外できる。 除外できた疾病には☑を記入する。	☐ 1. 全て除外可	☐ 2. 除外不可	☐ 3. 不明
☐ 胎内感染に伴うもの ☐ 分娩時外傷（主に鉗子分娩） ☐ 生後の外傷、感染症等に伴うもの ☐ 全身の先天性代謝異常症に伴うもの ☐ 先天角膜ジストロフィー ☐ 先天緑内障 ☐ 無虹彩症 ☐ 角膜輪部デルモイド			

■ 重症度分類に関する事項

1. 罹患眼	☐ 1. 右	☐ 2. 左	☐ 3. 両眼
2. 矯正視力	右		左
			☐ 視力測定不能

3. 視野狭窄	☐ 1. あり	☐ 2. なし	☐ 3. 不明
☐ I 度：罹患眼が片眼で、僚眼（もう片方の眼）が健常なもの ☐ II 度：罹患眼が両眼で、良好な方の眼の矯正視力 0.3 以上 ☐ III 度：罹患眼が両眼で、良好な方の眼の矯正視力 0.1 以上 0.3 未満 ☐ IV 度：罹患眼が両眼で、良好な方の眼の矯正視力 0.1 未満			
（注 1）健常とは矯正視力が 1.0 以上であり、視野異常が認められず、また眼球に器質的な異常を認めない状況である （注 2）I～III 度の例で続発性の緑内障等で良好な方の眼の視野狭窄を伴った場合には、1 段階上の重症度分類に移行する （注 3）視野狭窄ありとは、中心の残存視野がゴールドマン I/4 視標で 20 度以内とする			

modified Rankin Scale (mRS)

☐ 0. まったく症候がない ☐ 1. 症候はあっても明らかな障害はない（日常の勤めや活動は行える） ☐ 2. 軽度の障害 （発症以前の活動がすべて行えるわけではないが、自分の身の回りのことは介助なしに行える） ☐ 3. 中等度の障害（何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える） ☐ 4. 中等度から重度の障害（歩行や身体的要求には介助が必要である） ☐ 5. 重度の障害（寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする）

食事・栄養

☐ 0. 症候なし ☐ 1. 時にむせる、食事動作がぎこちないなどの症候があるが、社会生活・日常生活に支障ない ☐ 2. 食物形態の工夫や、食事時の道具の工夫を必要とする ☐ 3. 食事・栄養摂取に何らかの介助を要する ☐ 4. 補助的な非経口的栄養摂取（経管栄養、中心静脈栄養など）を必要とする ☐ 5. 全面的に非経口的栄養摂取に依存している
--

呼吸

- ☐ 0. 症候なし
- ☐ 1. 肺活量の低下などの所見はあるが、社会生活・日常生活に支障ない
- ☐ 2. 呼吸障害のために軽度の息切れなどの症状がある
- ☐ 3. 呼吸症状が睡眠の妨げになる、あるいは着替えなどの日常生活動作で息切れが生じる
- ☐ 4. 喀痰の吸引あるいは間欠的な換気補助装置使用が必要
- ☐ 5. 気管切開あるいは継続的な換気補助装置使用が必要

■ 症状の概要、経過、特記すべき事項など *500文字以内

■ その他の事項

ア. 症状

1. 眼内合併症			
☐ 白内障	☐ 緑内障（後天性）	☐ 移植片混濁	☐ その他
*その他を選択の場合、以下に記入			
2. 眼外合併症			
☐ 歯牙異常	☐ 顔面骨異常	☐ 先天性難聴	
☐ 精神発達遅滞	☐ 多発奇形	☐ 臍異常	
☐ 下垂体病変	☐ 口唇裂・口蓋裂	☐ 成長障害	
☐ 発達遅滞	☐ 心奇形	☐ その他	
*その他を選択の場合、以下に記入			

イ. 遺伝学的検査

遺伝子異常の有無 異常があった遺伝子には☑を記入する。	☐ 1. あり ☐ 2. 検査範囲内異常なし ☐ 3. 検査未実施
☐ PAX6 ☐ PITX2 ☐ CYP1B1 ☐ FOXC1	
遺伝形式	
☐ 常染色体劣性遺伝 ☐ 常染色体優性遺伝 ☐ なし ☐ 不明	

ウ. 治療その他

治療				
弱視治療	☐ 1. 実施 ☐ 2. 未実施			
	治療効果	☐ 1. 改善 ☐ 2. 不変 ☐ 3. 悪化 ☐ 4. 不明		
その他	☐ 1. 実施 ☐ 2. 未実施			
	治療名			
	治療効果	☐ 1. 改善 ☐ 2. 不変 ☐ 3. 悪化 ☐ 4. 不明		
外科的治療				
外科的治療の実施の有無		☐ 1. 実施 ☐ 2. 未実施		

手術日・理由	1 回目	手術日	西暦					年			月			日
		理由	☐ 1. 白内障 ☐ 2. 緑内障 ☐ 3. 角膜混濁 ☐ 4. その他 *4 を選択の場合、以下に記入											
	2 回目	手術日	西暦					年			月			日
		理由	☐ 1. 白内障 ☐ 2. 緑内障 ☐ 3. 角膜混濁 ☐ 4. その他 *4 を選択の場合、以下に記入											
	3 回目	手術日	西暦					年			月			日
		理由	☐ 1. 白内障 ☐ 2. 緑内障 ☐ 3. 角膜混濁 ☐ 4. その他 *4 を選択の場合、以下に記入											

■ 人工呼吸器に関する事項（使用者のみ記入）

使用の有無	☐ 1. あり		
開始時期	西暦 年 月		
離脱の見込み	☐ 1. あり ☐ 2. なし		
種類	☐ 1. 気管切開孔を介した人工呼吸器 ☐ 2. 鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器		
施行状況	☐ 1. 間欠的施行 ☐ 2. 夜間に継続的に施行 ☐ 3. 一日中施行 ☐ 4. 現在は未施行		
生活状況	食事	☐ 自立	☐ 部分介助 ☐ 全介助
	車椅子とベッド間の移動	☐ 自立 ☐ 軽度介助 ☐ 部分介助 ☐ 全介助	
	整容	☐ 自立	☐ 部分介助/不可能
	トイレ動作	☐ 自立	☐ 部分介助 ☐ 全介助
	入浴	☐ 自立	☐ 部分介助/不可能
	歩行	☐ 自立 ☐ 軽度介助 ☐ 部分介助 ☐ 全介助	
	階段昇降	☐ 自立	☐ 部分介助 ☐ 不能
	着替え	☐ 自立	☐ 部分介助 ☐ 全介助
	排便コントロール	☐ 自立	☐ 部分介助 ☐ 全介助
	排尿コントロール	☐ 自立	☐ 部分介助 ☐ 全介助

医療機関名												
指定医番号												
医療機関所在地												
電話番号											*ハイフンを除き、左詰めで記入	
医師の氏名												
記載年月日	西暦					年			月			日
診断年月日	西暦					年			月			日

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。（ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限りです。）
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近6か月間で最も悪い状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、
「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」（平成26年11月12日健発1112第1号健康局長通知）を参照の上、ご記入ください。
- ・診断年月日欄には、本臨床調査個人票に記載された内容を診断した日を記載してください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。

■ 行政記載欄

担当自治体												
受理日	西暦				年			月			日	
公費負担者番号												
認定結果	☐ 認定 ☐ 不認定											
研究同意の有無	☐ 有 ☐ 無											
受給者番号												
有効期限	西暦					年			月			日
階層区分	☐ 生活保護 ☐ 低所得Ⅰ ☐ 低所得Ⅱ ☐ 一般所得Ⅰ ☐ 一般所得Ⅱ ☐ 上位所得 ☐ その他											
軽症者登録	☐ 有 ☐ 無											
保険情報	保険者番号					被保険者記号						
	被保険者番号					被保険者 個人単位枝番						
	資格取得 年月日	西暦					年			月		